

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
A I 方式 1月28日 問題▶p.150～	第1問	古代	古墳～平安時代（奈良時代の歴史書と文芸、天平文化、奈良時代の政治）
	第2問	中世～近世	史料問題ほか（織田信長の統一事業、戦国大名と分国法、禁教と鎖国、江戸時代の政治）
	第3問	近代・現代	史料問題ほか（樺太・千島交換条約、幕末～明治初期の外交、GHQの占領政策と転換）
A I 方式 1月29日 問題▶p.153～	第1問	古代	奈良～平安時代（奈良時代の政治、天平文化、院政、平氏政権、保元の乱）
	第2問	中世～近世	史料問題ほか（山城の国一揆、室町時代の政変、徳川家綱の時代、明と清）
	第3問	近代・現代	史料問題ほか（民撰議院設立の建白書、明治初期の日本、国民党と共産党、韓国との外交）

## 傾向 古代史の出題割合が多く、標準レベルの問題が大部分を占める。

### ① 出題形式

1月28日と1月29日ともに、大問数が3つ、小問数が36問という構成である。

解答方式は、すべて番号を選ぶ形のマークシート方式である。設問形式は、空欄完成・正誤4択（または6択）・年代配列・2文正誤問題などで構成されている。センター試験の出題パターンに準じている。

### ② 出題内容

各大問とも、政治、外交、社会、文化などさまざまな内容が出題されている。

**古代史**は例年出題の比重が高く、今年度は両日とも全設問数の3分の1以上を占めている。なかでも、奈良時代からの出題が多い。また、昨年度に続き、以前は出題の少なかった近世からの出題が両日で見られた。

**史料問題**はここ数年毎年出題されており、どちらの日程で

も複数の出題が見られた。1月28日には朝倉氏の分国法「朝倉孝景条々」、江戸幕府による鎖国令、樺太・千島交換条約が出題され、1月29日には山城の国一揆についての記録、民撰議院設立の建白書が出題された。史料自体は授業中などに一度は目にするものが多く、難易度は高くはないものの、史料の基本的な内容を記憶していることや、文中の語句が指す事柄などを正確に把握していることが求められた。

このほか、写真を用いた文化史の問題も、例年出題が見られる。今年度は、両日とも天平文化に関する問題が出題された。

### ③ 難易度

教科書の内容を正確に押さえれば対応できる問題が大部分を占めている。一部に難度の高い事項も出題され、高度な知識を必要とする問題や消去法などを用いなければ答えにくい問題が見られることもあるが、全体としては標準的な難易度であるといえるだろう。

## 対策 教科書から始める段階的学習と知識の活用。

### ① 教科書を中心に、段階的に学習を進めよう

第1段階では、歴史の**大きな流れ**をとらえるため、教科書を読み込む学習が効果的である。あわせて、空欄補充でキーワードを答えさせる整理ノート形式の教材や、1問1答式の問題集も活用するとよい。

第2段階では、キーワードを答えられるだけでなく、その内容が理解できているか、正誤問題に取り組むとよい。**5W 1Hの要素（いつ・どこで・だれが・なにを・なぜ・どうやって）**はわかっているつもりでも、正誤問題を解いてみると、自分の理解の不足している要素を発見できる。正誤問題で正答率が高まるということは、正確で詳細な知識が身につけているということである。

第3段階では、政治史、外交史、経済史、文化史など、**テーマ別の通史**を学習しよう。時代ごとに学習してきた内容をテーマごとにとらえ直すことで、体系的な理解を深めることができる。また、実際の入試問題ではテーマに沿った出題が行われることが多いので、そうした切り口に慣れておくという意味でも大切である。できれば、「文化」「土地制度」といったテーマ別に、自分でノートに整理し直してみることをお勧めする。関連する歴史地図や写真を貼るなど、自分なりに要点をまとめることが重要だ。

### ② 史料・資料問題の対策を

教科書に掲載されているような基本的な史料については、繰り返し読み込んで内容やキーワードを覚えておきたい。史料の内容に関連する出来事や前後の流れなど、**背景や因果関係**を押さえておくことも重要である。

文化史の学習には、**資料集**を用いるのが効果的である。特に美術品は、今年度の問題にも見られるように写真が出題されることが多く、作品名や作者名を覚えるだけでなく、必ず実物を確認しておくことが必要である。単純に見て覚える作業にとどまらず、時代ごとの特徴、作風や技法の変化などを写真から探してみると、理解や興味が深まるだろう。

### ③ 知識を活用し、応用力をつけよう

既に授業や自習で十分な知識を蓄えていても、実際の入試に対応するには、応用力や慣れが必要である。問題集や過去問などで問題演習を積み、知識を補いながら実戦的な力を養っていこう。史料問題については、多くの問題に取り組んで、初めて見る史料から情報を読み取ったり内容を推測したりする練習も積んでおきたい。

そのほか、歴史に関する時事的な話題を題材とした出題も過去に見られたことから、歴史に関連するニュースにも関心を持つようにするよいだろう。